



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務統轄部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	4,923	2.1	440	6.2	472	7.7	306	3.6
28年9月期第2四半期	4,820	0.4	469	15.0	511	10.9	318	16.7

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 317百万円 (11.6%) 28年9月期第2四半期 284百万円 (4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	64.88	
28年9月期第2四半期	67.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	7,116	4,508	63.4
28年9月期	6,797	4,309	63.4

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 4,508百万円 28年9月期 4,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		25.00	25.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,830	2.7	910	2.5	980	1.6	640	2.0	135.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	4,732,600 株	28年9月期	4,732,600 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	2,443 株	28年9月期	2,443 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	4,730,157 株	28年9月期2Q	4,730,157 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、基調としては、緩やかな景気の回復傾向が続いております。企業収益及び雇用・所得の環境は高水準で推移しておりますが、個人消費は総じて足踏み状態となっております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコストアップ要因等を抱え、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大等、当社グループの中核となる事業の充実を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,923百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は440百万円（前年同四半期比6.1%減）、経常利益は472百万円（前年同四半期比7.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は4,220百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は200百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、地域活性化事業等への対応及びイベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組んでおります。当部門の売上高は2,679百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っております。当部門の売上高は1,166百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけております。当部門の売上高は290百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び人材派遣等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は91百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント損失は0.8百万円（前年同四半期は3百万円の損失）となりました。

(メールサービス事業)

メールサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。メールサービス事業の売上高は328百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比366.3%増）となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は282百万円（前年同四半期比7.4%減）、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比69.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ319百万円増加し、7,116百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が288百万円、のれんが30百万円、増加したこと等によるものであります。負債は前連結会計年度末と比べ120百万円増加し、2,608百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が17百万円、未払消費税等が12百万円、増加したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末と比べ199百万円増加し、4,508百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が188百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は63.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して288百万円増加し、3,152百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は457百万円（前年同四半期は238百万円の収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額188百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益509百万円、減価償却費41百万円、のれん償却額49百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は7百万円（前年同四半期は27百万円の支出）となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入50百万円、投資有価証券の払戻しによる収入18百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出52百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は161百万円（前年同四半期は196百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出34百万円、配当金の支払額117百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,863,407	3,152,063
受取手形及び売掛金	197,679	198,718
警備未収入金	986,295	958,865
仕掛品	—	472
原材料及び貯蔵品	35,765	32,687
繰延税金資産	39,674	43,432
その他	85,638	94,624
貸倒引当金	△2,316	△1,706
流動資産合計	4,206,142	4,479,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	330,050	323,892
土地	1,041,292	1,041,292
その他	155,552	178,589
有形固定資産合計	1,526,895	1,543,773
無形固定資産		
のれん	428,634	459,494
その他	35,884	34,021
無形固定資産合計	464,518	493,515
投資その他の資産		
投資有価証券	398,814	380,303
投資建物（純額）	5,515	5,376
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,187	3,187
繰延税金資産	32,485	33,726
その他	98,398	117,521
貸倒引当金	△13,159	△13,239
投資その他の資産合計	597,326	598,961
固定資産合計	2,588,741	2,636,250
繰延資産		
株式交付費	1,886	943
創立費	243	182
繰延資産	2,130	1,125
資産合計	6,797,013	7,116,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	660,000	660,000
1年内返済予定の長期借入金	64,298	72,202
未払法人税等	173,400	191,200
未払消費税等	116,975	129,641
未払費用	568,211	559,729
賞与引当金	71,730	75,650
その他	189,933	263,408
流動負債合計	1,844,548	1,951,833
固定負債		
長期借入金	382,248	399,593
退職給付に係る負債	219,828	219,177
繰延税金負債	67	489
その他	41,318	37,024
固定負債合計	643,463	656,285
負債合計	2,488,011	2,608,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	2,690,428	2,879,053
自己株式	△711	△711
株主資本合計	4,239,196	4,427,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,721	95,194
退職給付に係る調整累計額	△16,916	△14,601
その他の包括利益累計額合計	69,805	80,592
純資産合計	4,309,002	4,508,414
負債純資産合計	6,797,013	7,116,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	4,820,312	4,923,222
売上原価	3,203,372	3,298,368
売上総利益	1,616,939	1,624,854
販売費及び一般管理費	1,147,592	1,184,404
営業利益	469,346	440,450
営業外収益		
助成金収入	10,356	6,453
受取賃貸料	13,503	13,950
受取出向料	5,340	4,236
投資有価証券運用益	7,739	158
その他	14,636	14,254
営業外収益合計	51,575	39,051
営業外費用		
支払利息	4,777	4,301
投資有価証券運用損	406	—
その他	4,578	3,174
営業外費用合計	9,762	7,476
経常利益	511,160	472,025
特別利益		
投資有価証券売却益	20,436	37,043
その他	—	0
特別利益合計	20,436	37,044
特別損失		
固定資産除却損	244	0
固定資産売却損	7,295	—
特別損失合計	7,540	0
税金等調整前四半期純利益	524,056	509,070
法人税、住民税及び事業税	207,319	212,079
法人税等調整額	△1,490	△9,889
法人税等合計	205,828	202,190
四半期純利益	318,227	306,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,227	306,879

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	318,227	306,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,271	8,472
退職給付に係る調整額	1,644	2,314
その他の包括利益合計	△33,627	10,787
四半期包括利益	284,600	317,666
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	284,600	317,666

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	524,056	509,070
減価償却費	39,593	41,771
のれん償却額	49,051	49,912
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△810	△530
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,730	3,920
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,170	2,679
受取利息及び受取配当金	△3,518	△3,015
支払利息	4,777	4,301
投資有価証券運用損益(△は益)	△7,333	△158
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,436	△37,043
有形固定資産売却損益(△は益)	7,295	0
有形固定資産除却損	244	0
売上債権の増減額(△は増加)	27,979	51,128
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,391	2,605
前払費用の増減額(△は増加)	△16,276	△1,525
未収入金の増減額(△は増加)	△9,140	△1,300
未払金の増減額(△は減少)	24,136	61,206
未払費用の増減額(△は減少)	△25,300	△26,688
預り金の増減額(△は減少)	△1,512	△6,910
その他	△104,732	△2,269
小計	511,366	647,151
利息及び配当金の受取額	3,518	3,015
利息の支払額	△4,627	△4,118
法人税等の支払額	△271,908	△188,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	238,348	457,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,018	△1,631
投資有価証券の売却による収入	23,568	50,629
投資有価証券の払戻しによる収入	18,937	18,980
有形固定資産の取得による支出	△61,214	△52,606
有形固定資産の売却による収入	7,333	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,815
短期貸付けによる支出	△750	△1,400
短期貸付金の回収による収入	—	125
敷金の差入による支出	△1,043	△1,242
その他	△10,440	△14,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,626	△7,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△68,226	△34,632
配当金の支払額	△117,400	△117,897
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11,136	△9,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,763	△161,706
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,957	288,655
現金及び現金同等物の期首残高	2,533,631	2,863,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,547,589	3,152,063

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,097,728	87,252	329,713	305,617	4,820,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	72,560	5,525	—	834	78,920
計	4,170,289	92,778	329,713	306,452	4,899,233
セグメント利益又は損失(△)	195,674	△3,980	1,760	62,577	256,032

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項) (単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,032
セグメント間取引消去	213,314
四半期連結損益計算書の営業利益	469,346

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,220,634	91,163	328,434	282,989	4,923,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,367	5,472	0	3,121	88,961
計	4,301,001	96,636	328,434	286,110	5,012,183
セグメント利益又は損失(△)	200,717	△837	8,210	19,172	227,263

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項) (単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,263
セグメント間取引消去	213,187
四半期連結損益計算書の営業利益	440,450

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。